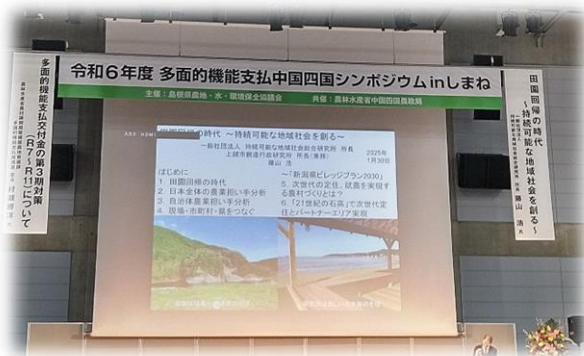


「令和6年度 多面的機能支払中国四国シンポジウム in しまね」の開催

令和7年1月30日(木) 島根県立産業交流会館
(くにびきメッセ1階大展示場)において、「令和6年度 多面的機能支払中国四国シンポジウム in しまね」が開催されました。このシンポジウムは中国四国管内各県持ち回りで開催されており、今年は島根県農地・水・環境保全協議会の主催により開催となりました。

山口県からも17活動組織108名が参加し、県外の活動組織との交流も図られました。

基調講演では、一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所の藤山浩所長より「田園回帰の時代～持続可能な地域社会を創る～」、また農林水産省農村振興局整備部農地資源課多面的機能支払推進室の村瀬室長より「多面的機能支払交付金の第3期対策(R7～R11)について」講演がありました。



令和6年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰が行われ、最優秀賞を受賞された「下町水土里会」(鳥取県八頭郡八頭町)から事例発表がありました。

その後、藤山浩氏(持続可能な地域社会総合研究所長)がコーディネーターとなり、山本亮介氏(ふるさと島根定住財団)、豊田知世氏(島根県立大学准教授)、村瀬勝洋氏(農林水産省多面的機能推進室長)、最優秀賞「下町水土里会」及び優秀賞「宅野地域農地保全会」の各代表により、農的関係人口の創出に向けて様々な観点から意見交換が行われました。

また、会場には今年度農政局長表彰受賞組織(8組織)の活動内容がまとめられたパネルが展示され、山口県からは「八方原の環境を守る会」が紹介されていました。



「山口県日本型直接支払第三者委員会」の開催

2月6日（木）山口県庁にて山口県日本型直接支払第三者委員会が開催されました。

6名の委員により多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払のR6年度実績見込み及び事業推進を検討され、各議事について承認されました。



共同活動における安全管理について

近年、共同活動中の事故及び熱中症による事故被害が増加傾向にあります。

農林水産省より頒布されている「多面的機能支払交付金 共同活動の安全のしおり」や「熱中症対策パンフレット」を活用し、共同活動に伴う事故が起こらないよう活動しましょう。

以降は、上記資料から抜粋した内容になります。

水路やため池の法面、水路内等の足場の悪い場所での共同活動では、転倒・転落事故が多発しているため、ヘルメットの着用や足元の安全確認を行った上で慎重に作業しましょう。また、連続した作業では気づかぬうちに疲労が蓄積するので、疲労を感じる前に休憩を取りましょう。

草刈り機の使用を伴う共同活動では、事前に草刈り範囲の石や木片、金属片等がないか下見を行い、作業前に取り除きましょう。また、場所を移動する際や刈刃に詰まった草や異物を取り除く等の作業を中断する際には、必ずエンジンを切った上で移動や作業を行いましょう。

共同活動を行う際には、保険に加入しましょう。（保険料は、多面的機能支払交付金から支出できます。）

熱中症対策について、熱中症警戒アラートなど気象情報を確認し、警戒すべき高温下での作業を避け、作業の中止や延期を検討しましょう。また、こまめな休憩と水分・塩分補給を行い、体調が悪くなった際には無理に作業を行わないようにしましょう。

熱中症（手足のしびれ、めまい、吐き気、頭痛、汗をかかない、まっすぐ歩けないなど）が疑われる症状がみられた場合には、すぐ作業を中断して涼しい場所へ避難し、衣服を緩めるとともに、首筋や脇の下、足の付け根を冷やす応急処置を行いましょう。応急処置を行っても症状が改善しない場合にはすぐに医療機関で診察を受けましょう。

